



天王

生徒の学び・成長のつながり大切にする ～園、小、中学校による合同学校運営協議会～

本校は、平成30年4月に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとして「地域とともにある学校づくり」に取り組んで今年で5年目となりました。この間、コロナ禍のために思うように取り組みを進められなかった時期もありますが、学校と家庭、地域が「横のつながり」を広げ、強めてまいりました。

6年目となった今年は、こども園・小学校・中学校の「縦のつながり」を強くするため、天王こども園の園長・5歳児担任と天王小・東湖小・天王中の3校の学校運営協議委員、それにかたりあん職員等（社会教育）が集まって合同学校運営協議会を開催しました。

義務教育9年間（+幼児教育）を通して育てたい子どもの姿

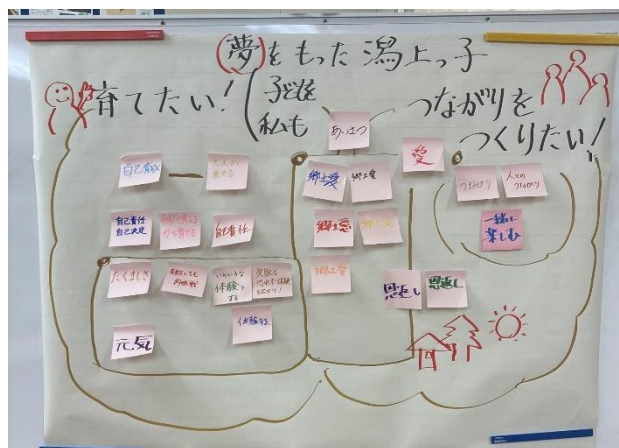


そもそも、子どもの成長というものには園、小学校、中学校という段階はあるものの、1本の糸のように途切れること

なく連続しています。「縦のつながり」を強くするとは、子どもの学びや成長の連続性を大人も大切にすることであり、そのためには「育てたいこどもの姿」（ゴールの姿）のイメージ・方向性を、園・学校・家庭・地域で共有されていることが求められます。

そこで、今回の合同学校運営協議会では、テーマ「義務教育9年間（+「幼児教育」）を通して育てたい子どもの姿」について、参加者がさまざまな本音や思いを語り合い、テーマについての共通認識をもつことにしました。

グループのメンバーを入れ替えながら、テーマについて語り合い、最後はキーワードを1枚の付箋紙に書き出し、整理しました。



これからの変化の激しい、先行き不透明な社会、厳しい時代を、夢をもって生きる子どもたちを育てたい。そのために「自分で考える力を身に付ける」「失敗しても再挑戦するたくましさ身に付ける」「いろいろな体験を積む」「郷土・地域を愛する心を育てる」「人とのつながりを大人も楽しむ」などというキーワードが出され、子どもも大人もつながりをつくっていかねばならないことが共通認識されました。参加者からは「先行き不透明な社会では、大人が子どもに何を示せるのか疑問だったが、今日の熟議をとおして、子どもだけでなく大人も学んでいかなければならないと思った」という感想が聞かれました。

学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとして、その成果が実感できるようになるまでには、ある程度の時間がかかる場合があるといわれています。「地域に開かれた学校」から、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への大きな転換を図るのですから、時間を要するのは当然だとも考えられます。そのため、子どもたちの健やかな成長のために、

今後も中長期的な視点を持ち、腰を据えて継続的に取り組んでいく必要があります。

もともとこの天王地区は、学校と地域とのつながりが強く、「地域全体で子どもたちの学びや成長を支えよう」とするしっかりとした土壌があります。今後も「縦のつながり」と「横のつながり」を強めながら、天王地区の強みを生かした教育を進めながら夢をもった湧上っ子を育ててまいります。

【参考】令和5年度天王地区園・学校の教育目標

○天王こども園

のびのび わくわく 意欲的に遊び、いきいきとかがやく子どもの育成

○天王小学校

心はずませ 夢にむかって～豊かな心・確かな学力～

○東湖小学校

夢をもち 共に学び 未来を拓く子どもの育成

○天王中学校

「つながり」を大切にし、志をもってたくましく生きる」生徒の育成

体験を通して自分の生き方を考える ～2年生職場体験から～



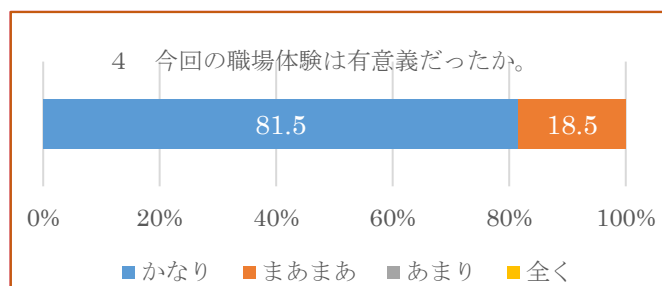
教師ミニミニ体験の様子から

12月20日（水）から22日（金）までの3日間にわたって、秋田大学主催「教師ミニミニ体験」事業が行われ、本校では3人の高校生が実地体験をしました。この事業は、将来、教職を希望している高校生（若干名の大学生を含む）を対象に、小・中学校の児童生徒と触れ合ったり、教職の魅力や適性、教師としての基本的な知識を学ぶための高大連携授業を受講したりすることで、教職への憧れや意欲を一層高めることを目的としています。

3日間をとおして、教員という仕事をミニ体験したりたくさん生徒と話したりしたという高校生たちからは「みんなどの子どもがんばっていることが分かった。私と世代が近いことから、たくさん話しかけてきてくれて本当に楽しかった。みんなとても元気いっぱい、私もたくさんエネルギーをもらった。先生方の授業を参観し、とても勉強にもなった。数年後、先生方と一緒に仕事ができるように頑張りたい」「生徒たちの元気な声や明るい表情、あふれるユーモアで、私自身笑顔にさせてもらった。また、生徒たちには負けられないと思った。今回の体験でたくさん得られたので、自分も負けたくないよう、進路に向かって一生懸命頑張りたい」という充実感と目標達成への意欲が感じられました。同時に「生徒たちと別れるのが寂しい」という声が聞かれました。

1日だけの体験であつたら、緊張だけで終わりこのような感想にはいたらなかっただろうと考えられます。体験そのものの理解や体験先との人間関係が深まるとともに、働くことの素晴らしさ、喜び、厳しさなどを実感するには、まとまった期間が必要になるといわれています。

本校では、2年生が10月に4日間の職場体験（キャリア・スタート・ウィーク）を行っています。次のグラフは、体験後の生徒アンケートの1項目です。



全ての生徒が「有意義だった」と感じていること、さらに81.5%の生徒が「かなり有意義だった」と回答していることは注目すべき点です。高校生の体験事業と同じく、中学生にとっても職場体験は心に残り、学びの多い活動になっています。今後も本校では、体験活動が生徒にとって貴重な学びの場となるよう、指導の充実を図ってまいります。

生徒の活躍

秋田県中学校秋季陸上競技大会

女子共通100mH 優勝

第58回秋田県中学校秋季柔道大会

令和5年11月4日

男子個人60kg級 優勝

男子個人66kg級 第3位

県北少年剣道鹿角大会

令和5年10月4日

中学校男子団体の部 第3位

第65回六市四郡剣道大会

令和5年11月26日

学校男子団体の部 第2位

第59回秋田県中学校秋嶺バレーボール大会

令和5年10月29日

優勝 ブラウブリッツ秋田バレーボールクラブ

市民スポーツ祭中学校バレーボール大会

令和5年11月18日

準優勝 ブラウブリッツ秋田バレーボールクラブ

連覇賞

男鹿潟上南中学校総合体育大会 4連覇

令和5年11月24日

天王中学校柔道部

栄光賞

柔道女子70kg級

令和5年11月24日
県総体1位

令和5年度男鹿市民スポーツ大会兼

第12回小玉杯男鹿市交歓バスケットボール大会

令和5年12月9日

優勝 天王中学校女子バスケットボール部

令和5年度「ふくしの作文」コンクール

優秀賞

小さな勇気は心のバリアフリー
2年

家族の思いとあたたか
2年

みんなが幸せな生活を
2年



令和5年度「わか杉チャレンジフェスティバル」

令和5年12月6日

中学校の部 優秀賞

3年

令和5年度男鹿潟上南秋学校保健会 健康生活推進顕彰児童生徒

令和5年11月15日

3年

3年

令和5年度

第64回秋田県児童生徒美術展

入賞

2年

3年

2年

3年

佳作

1年

1年

2年

3年

1年

1年

2年

3年

秋田市文化創造館 2・3階 スタジオA・B

1月5日 14:30～17:00

1月6日 9:00～17:00

1月7日 9:00～14:30

上記入賞作品が展示されます。

第46回秋田県アンサンブルコンテスト

中央地区予選

令和5年12月16日

銀賞

金管3重奏

銀賞

管打楽器6重奏

1月の行事予定

1月

1日(月) 元日 学校閉庁日 ■部活動休止日

2日(火) 学校閉庁日 ■部活動休止日

3日(水) 学校閉庁日 ■部活動休止日

4日(木) 学校閉庁日 ■部活動休止日

5日(金) 3年実力テスト⑦ 大いなる秋田演奏会

6日(土) 大いなる秋田演奏会

7日(日) ■部活動休止日

8日(月) 成人の日

9日(火) 3年三者面談③～1/11

12日(金) 職員会議 校内研修会

15日(月) 冬休み明け初日

17日(水) 進路指導委員会

18日(木) フッ化物先口

19日(金) 第3回英検(放課後)

21日(日) ■部活動休止日

22日(月) ■部活動休止日

23日(火) 新入生入学説明会・体験入学

24日(水) チャレンジテスト⑨

25日(木) フッ化物先口



冬 休 み